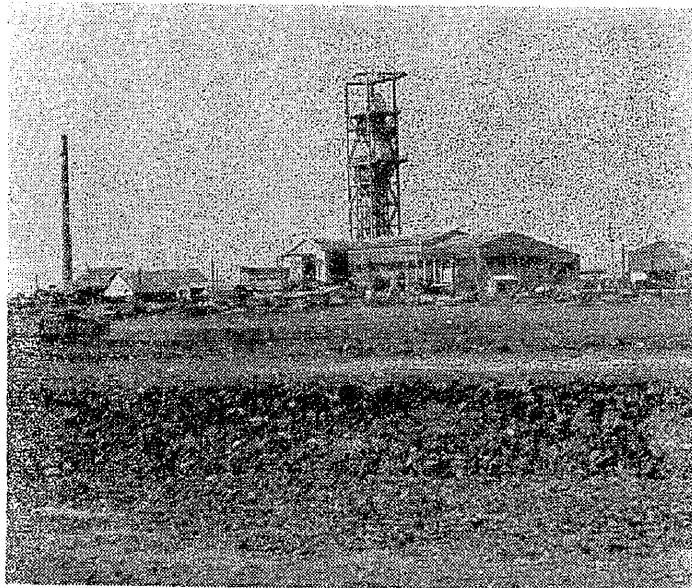


災害責任をとれ

まき起る抗議行動

四山災害、保安サボが原因

三池炭鉱に統括する災害は、ついに本紙一面記事にあるように、四月三十日の四山鉱で暴走する炭車が坑底人車に激突、百四人もの死傷者を出す大災害にいたったが、今当の四山鉱を中心に会社に対する抗議行動がまき起っている。



四山鉱で起きた暴走炭車の坑底人車への激突。そのために多数の死傷者を出したことは、かねてこらえられてきた災害統括に対する労働者の怒りをついに爆発させた。とくに四山指導部に結集する各職場分会は鉱長に対する抗議行動に立ち上がった。三池労組もただちに団体交渉を通じ、災害責任を追及する。

同箇所は自走勾配だったが、停車中の炭車は、阻止が不十分だったうえに手動ブレーキも不良。それに運搬指令所も空室だったところから、いつの間にかこの炭車が動きだし、やがて加速しながら坑底に人車に激突することになったのである。

災害は、四山坑底の坑底人車ホームで、その日職場に向う労働者を乗せて待機する人車に、めざす方向から暴走してきた炭車が激突したために引き起こされたことは、本紙一面記事にある通り。

その日炭車は二十一両連結(うち空箱九両で、総重量は約二百二十トント)だった。

はるかに四山鉱の堅坑やぐらをのぞむ。この下で災害が...

各裁判の公判日程

会社の災害責任を追及する裁判。二十四日午後一時から、福岡地裁の公判日程は次の通りです。

- ▲九・二八坑内火災裁判 五月十一時から、福岡高裁で。
- ▲上村裁判 右と同じ日の午前
- ▲九・二八坑内火災裁判 五月十一時から、福岡高裁で。
- ▲上村裁判 右と同じ日の午前
- ▲三井三池炭運 今年になると一月十一日、三川
- ▲三井三池炭運 今年になると一月十一日、三川
- ▲三井三池炭運 今年になると一月十一日、三川

三作が人減し合理化

名は希望退職募集でも

三井三池炭運 所が、いよいよ人へらし合理化に乗り出してき

新しい活動方針をきめる 退職者の会総会

橋本鉄工所、解雇撤回

組合の闘いについて勝利

長くストライキをうち続けたが「解雇撤回」を要求して来た長は、ついに闘いに勝ち、働く者から祝福されている。

同分会は大地群・全国一般労組の支援のもとで、橋本鉄工所(橋本義勝社長。大牟田市北磯町二丁目)のストライキを守るために、

定期総会で運動方針きめる 単独のじん肺法を

さらに団結強め運動へ

三池じん肺会

三池じん肺会(会員約百人。向井芳雄会長)は、先に定期総会を開き「じん肺法の単独立法の推進」などをめざし、より強く団結し、統一し、結果しながら運動をすすめてゆく新年度の運動方針を確立した。

三池じん肺会(会員約百人。向井芳雄会長)は、先に定期総会を開き「じん肺法の単独立法の推進」などをめざし、より強く団結し、統一し、結果しながら運動をすすめてゆく新年度の運動方針を確立した。

「傷病年金などの不公平の是正」について。

「じん肺は内部障害であり、も

政府は、学校の先生が「主任手

組合側もストライキを解除し、



春闘勝利に決起誓う

24日、大牟田地区で集会

共闘日4月24日午後5時から、大牟田地区で春闘勝利決起集会が行われ、約1,000人が参加した。

同分会は大地群・全国一般労組の支援のもとで、橋本鉄工所(橋本義勝社長。大牟田市北磯町二丁目)のストライキを守るために、

なお新しい役員に、次の人々が選ばれた。敬称省略。

- 会長 古賀 昇(港務)
- 副会長 立山 久(宮浦)
- 大西 勉(三川)
- 事務局長 深川 義明(本所)
- ほかに向井芳雄さん(四山)、大久保陽三さん(宮浦)、松原直吉さん(港務)らがある。